

# 流通とSC・私の視点

2007年6月20日

視点(780)

I Saw All America (その94) !!

アメリカの食品業態のグレード分類

アメリカの食品業態を「グレード軸」を基に分析し、日米比較すると次のようになります(六車流：流通理論)。(8年目に改訂しました)

		日米グレード比較	
		アメリカ	日 本
High Grade	Grade 1	ドレガーズ	紀伊國屋 明治屋
	Grade 2	ゲルソンス バヤリース	いかりスーパー、三浦屋、 高級名店街(ホテイチ)
	Grade 3	ブリストル・ファームス	中級名店街(デパチカ)
Middle Grade	Grade 4	セントラルマーケット ウェグマンズ	クイーンズ伊勢丹、大丸ピーコック、 ザ・ガーデン自由ヶ丘、成城石井
	Grade 5	パブリックス ホールフーズ ディーン&デルーカ ユークロップス トレーダージョーズ	KOHYO、オオゼキ、阪急オアシス、 ヤオコー、ニッショー、 パントリー、プレッセ(東急ストア)、 京北スーパー、フードストアあおき、 大衆名店街(SCナカ)、三和 ディーン&デルーカ
	Grade 6	クローガー、セーフウェイ、A & P、 HEB、ゼイバース、イーチーズ	イトーヨーカドー、ジャスコ、 イズミ、アピタ、サティ
	Grade 7	フード・ライオン、チェルシー・マーケット フェリー・ビルディング・マーケットプレイス	西友、イズミヤ、グルメシティ(ダイエー) 黒門市場、錦市場、築地市場
Low Grade	Grade 8	コスコ スチュー・レオナルズ	マックスバリュ、オリンピック、 コストコ
	Grade 9	ウォルマート・スーパーセンター スーパー・ターゲット	プラント(ミッタ)、マキオ、 エース新鮮館、日本式市場
	Grade10	カプフーズ、フードフォレスト、 ゼイブ・ア・ロット、アルデイ、 アホールド、ファーマーズマーケット	99オンリーショップ、大黒天、 オーケー、万代、スーパー玉出、 プライスカット(オークワ)

SC内・食品業態とSC外・食品業態が同じレベルで競争すると、SC外・食品業態が勝つ。したがって、SC内・食品業態はSC外・食品業態が真似のできない異質性の食品売場を形成しなければ、SC外・食品業態の包囲網に切り崩されます。

また、SC内には2核あるいは3核体制の食品業態を導入する場合は、各食品業態を互いに隣接・回遊上に配置しなければ、一方が成り立ちません。

(株)ダイナミックマーケティング社<sup>3</sup>  
代 表 六 車 秀 之